



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月11日

上場会社名 株式会社オーハシテクニカ 上場取引所 東
 コード番号 7628 URL https://www.ohashi.co.jp
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）廣瀬 正也
 問合せ先責任者（役職名）上席執行役員経理部長（氏名）正木 聖二（TEL）03-5404-4418
 半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 2025年12月2日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	19,967	△1.8	1,122	27.6	1,331	17.5	1,520	100.4
2025年3月期中間期	20,336	8.4	879	32.8	1,132	38.9	758	310.1

（注）包括利益 2026年3月期中間期 △189百万円（－%） 2025年3月期中間期 3,034百万円（55.0%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	118.62	—
2025年3月期中間期	57.55	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	47,631	38,717	80.3
2025年3月期	48,683	39,653	80.4

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 38,243百万円 2025年3月期 39,145百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	34.00	—	34.00	68.00
2026年3月期	—	37.00			
2026年3月期（予想）			—	18.50	—

（注1）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

（注2）当社は、2026年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を予定しております。
 2026年3月期（予想）の1株当たり期末配当金につきましては、株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当合計は単純合算ができないため「—」と表示しております。
 なお当該株式分割を考慮しない場合の2026年3月期（予想）の年間配当金は、74円00銭となります。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,500	△1.3	1,950	9.4	2,400	1.6	2,030	33.3	158.34

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 一社 (社名) 一、除外 1社 (社名) 株式会社オーハシロジスティクス

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期中間期	13,190,960株	2025年3月期	13,190,960株
2026年3月期中間期	402,434株	2025年3月期	249,531株
2026年3月期中間期	12,820,190株	2025年3月期中間期	13,182,491株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用に当たっては、添付資料P. 2「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(第2四半期 (中間期) 決算補足説明資料の入手方法について)

第2四半期 (中間期) 決算補足説明資料は、11月11日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(継続企業的前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における世界経済は、全体として底堅い景気回復が続いたものの、ウクライナでの戦争、中東での紛争には依然終結が見えず、中国・東南アジアでの景気減速等、先行き不透明な状況が続きましたが、米国との関税交渉は漸く合意に至り、不確実性の緩和が見られました。

当社グループの事業分野であります自動車業界におきましては、米国での関税による自動車販売への影響は限定的でしたが、中国での地場メーカーによる更なるシェア拡大、アセアン地区での内需不振の継続、日本での一部メーカーの販売不振による減産継続の影響もあり、日系自動車メーカーのグローバル生産台数は前年を下回る実績となりました。

このような環境下、当社グループは「中期経営計画～Mission2025+2～」の基本施策である「経済的価値の追求」と「社会的価値の創造」に資する具体的施策を推進することと併せ、資本コストを意識した効率的な経営の実現に向け取り組んでおります。

この結果、当中間連結会計期間の連結売上高は、各地域で新規受注品の売上寄与はあったものの、国内での一部乗用車メーカー、商用車メーカーの減産、米国での乗用車メーカーの生産調整、中国での主要得意先の減産継続に加え、為替の円高による換算影響により、19,967百万円(前年同期比1.8%減)となりました。一方、連結営業利益については、価格改定や製造部門での生産性向上による売上総利益率の改善と経費の削減により、1,122百万円(同27.6%増)となりました。また、経常利益は1,331百万円(同17.5%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は、1,520百万円(同100.4%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。(セグメント売上高は、外部顧客に対するものであり、セグメント利益は、当中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。)

[日本]

新規受注品の売上寄与はあったものの、主要得意先自動車メーカーの減産の影響により、売上高は9,513百万円(前年同期比1.3%減)となりました。セグメント利益は、価格改定による売上総利益率の改善はあったものの、売上減少により、349百万円(同28.9%減)となりました。

[米州]

主要得意先自動車メーカーの生産調整、及び為替の円高による換算影響により、売上高は7,056百万円(前年同期比0.9%減)となりました。セグメント利益は、価格改定や製造部門での生産性向上及び経費削減により、453百万円(前年同期比84.0%増)となりました。

[中国]

現地メーカー間の販売競争が激化する中で得意先日系自動車メーカーの生産減少が続いており、売上高は1,059百万円(前年同期比20.0%減)となりました。セグメント損失は、前期に実施した構造改革により経費は減少したものの、売上高の減少による影響がこれを上回り、42百万円(前年同期はセグメント損失92百万円)となりました。

[アセアン]

自動車ローン取扱いの厳格化による自動車販売の低迷が続いているものの、主要得意先向けの新規受注品売上寄与等により、売上高は1,587百万円(前年同期比8.2%増)となりました。セグメント利益は、売上増加や製造部門での生産性向上等による原価低減により、221百万円(前年同期比19.4%増)となりました。

[欧州]

新規受注品の売上寄与はあったものの、主要得意先自動車メーカーの減産の影響により、売上高は751百万円(前年同期比4.8%減)となりました。セグメント利益は、価格改定や仕入原価の改善、販管費の減少により、97百万円(同256.2%増)となりました。

[台湾]

台湾大橋精密股份有限公司は、グループ間取引のみのため、外部顧客への売上高はありません。

グループ会社向けの輸出が減少し、セグメント利益は10百万円(前年同期比46.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末比1,052百万円減少し、47,631百万円となりました。これは主として、商品及び製品、有形固定資産が減少したことによるものであります。

負債の残高は、前連結会計年度末比115百万円減少し、8,913百万円となりました。これは主として、繰延税金負債が減少したことによるものであります。

純資産の残高は、前連結会計年度末比936百万円減少し、38,717百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する中間純利益の計上はありましたが、為替換算調整勘定が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年7月15日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,824,330	22,385,805
受取手形、売掛金及び契約資産	7,513,986	7,487,747
商品及び製品	5,509,248	5,280,152
仕掛品	787,043	719,107
原材料及び貯蔵品	1,168,990	1,062,318
その他	857,061	425,781
貸倒引当金	△18,484	△18,243
流動資産合計	37,642,177	37,342,669
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,091,130	5,786,546
減価償却累計額	△3,690,109	△3,577,965
建物及び構築物(純額)	2,401,021	2,208,581
機械装置及び運搬具	12,670,523	12,288,981
減価償却累計額	△9,631,060	△9,303,801
機械装置及び運搬具(純額)	3,039,463	2,985,180
工具、器具及び備品	4,229,952	4,256,769
減価償却累計額	△3,828,809	△3,837,037
工具、器具及び備品(純額)	401,142	419,732
土地	1,465,659	1,436,677
建設仮勘定	393,217	314,558
有形固定資産合計	7,700,503	7,364,729
無形固定資産		
ソフトウェア	72,760	67,829
その他	57,475	53,055
無形固定資産合計	130,235	120,884
投資その他の資産		
投資有価証券	2,566,782	2,324,264
繰延税金資産	142,985	79,625
その他	535,319	432,052
貸倒引当金	△34,493	△33,114
投資その他の資産合計	3,210,593	2,802,827
固定資産合計	11,041,333	10,288,441
資産合計	48,683,510	47,631,111

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,136,768	3,159,666
電子記録債務	2,947,770	3,060,466
未払法人税等	312,884	491,878
賞与引当金	234,704	269,250
役員賞与引当金	63,800	25,050
その他	1,216,790	963,550
流動負債合計	7,912,718	7,969,861
固定負債		
繰延税金負債	244,100	93,793
退職給付に係る負債	631,470	628,031
その他	241,484	222,127
固定負債合計	1,117,055	943,952
負債合計	9,029,774	8,913,814
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,825,671	1,825,671
資本剰余金	1,611,240	1,611,240
利益剰余金	28,323,689	29,403,808
自己株式	△477,486	△770,979
株主資本合計	31,283,114	32,069,739
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	789,962	697,474
為替換算調整勘定	7,023,212	5,431,405
退職給付に係る調整累計額	49,156	44,740
その他の包括利益累計額合計	7,862,331	6,173,619
非支配株主持分	508,289	473,936
純資産合計	39,653,735	38,717,296
負債純資産合計	48,683,510	47,631,111

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	20,336,805	19,967,239
売上原価	16,117,257	15,648,942
売上総利益	4,219,548	4,318,297
販売費及び一般管理費	3,340,010	3,196,216
営業利益	879,537	1,122,080
営業外収益		
受取利息	131,697	118,230
受取配当金	36,537	46,389
持分法による投資利益	561	12,441
為替差益	24,906	—
作業くず売却益	49,148	47,106
補助金収入	21	30,689
その他	18,038	17,722
営業外収益合計	260,910	272,580
営業外費用		
支払利息	2,833	4,287
為替差損	—	57,932
貸倒引当金繰入額	2,573	126
その他	2,395	935
営業外費用合計	7,801	63,281
経常利益	1,132,646	1,331,378
特別利益		
固定資産売却益	617	2,074
投資有価証券売却益	—	731,411
在外子会社資金流出事案に係る回収益	—	50,296
その他	—	76
特別利益合計	617	783,859
特別損失		
固定資産除却損	2,073	2,513
在外子会社資金流出事案に伴う損失	6,639	2,248
その他	—	582
特別損失合計	8,712	5,345
税金等調整前中間純利益	1,124,551	2,109,893
法人税、住民税及び事業税	379,476	626,451
法人税等調整額	△23,924	△41,582
法人税等合計	355,552	584,868
中間純利益	768,999	1,525,024
非支配株主に帰属する中間純利益	10,336	4,328
親会社株主に帰属する中間純利益	758,662	1,520,695

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	768,999	1,525,024
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△98,269	△93,120
為替換算調整勘定	2,368,615	△1,617,724
退職給付に係る調整額	△4,315	△4,416
持分法適用会社に対する持分相当額	△933	632
その他の包括利益合計	2,265,096	△1,714,628
中間包括利益	3,034,096	△189,603
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,978,257	△168,016
非支配株主に係る中間包括利益	55,838	△21,587

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,124,551	2,109,893
減価償却費	461,721	497,473
賞与引当金の増減額(△は減少)	29,144	35,506
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△38,000	△38,750
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,915	256
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△4,479	△4,259
受取利息及び受取配当金	△168,235	△164,619
補助金収入	△21	△30,689
支払利息	2,833	4,287
持分法による投資損益(△は益)	△561	△12,441
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△731,411
固定資産売却損益(△は益)	△617	△1,691
固定資産除却損	2,073	2,513
売上債権の増減額(△は増加)	540,064	△206,645
棚卸資産の増減額(△は増加)	△26,333	56,623
仕入債務の増減額(△は減少)	△510,683	385,277
その他	296,507	322,257
小計	1,713,879	2,223,580
利息及び配当金の受取額	140,647	236,917
利息の支払額	△2,833	△4,287
補助金の受取額	21	30,689
法人税等の支払額	△340,387	△448,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,511,327	2,038,898
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△636,423	△706,915
有形固定資産の売却による収入	617	1,705
無形固定資産の取得による支出	△11,555	△7,787
投資有価証券の取得による支出	△6,616	△6,135
投資有価証券の売却による収入	—	866,878
保険積立金の解約による収入	—	104,500
貸付けによる支出	△3,300	△9,633
貸付金の回収による収入	2,000	4,190
定期預金の増減額(△は増加)	△2,968,325	△2,621,743
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,623,601	△2,374,941
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△77,460	△60,544
自己株式の取得による支出	△102,484	△292,970
配当金の支払額	△397,663	△440,576
非支配株主への配当金の支払額	△7,878	△15,180
財務活動によるキャッシュ・フロー	△585,487	△809,271
現金及び現金同等物に係る換算差額	649,532	△558,141
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,048,228	△1,703,456
現金及び現金同等物の期首残高	16,375,943	17,015,900
現金及び現金同等物の中間期末残高	14,327,714	15,312,444

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当中間連結会計期間より、当社の連結子会社であった株式会社オーハシロジスティクスは、2025年4月1日に当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年11月12日開催の取締役会決議に基づき、当中間連結会計期間において自己株式152,700株の取得を行っております。この取得等により、当中間連結会計期間において、自己株式が293,493千円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が770,979千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アセアン	欧州	台湾	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	9,639,647	7,116,916	1,323,895	1,467,628	788,717	—	20,336,805	—	20,336,805
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,112,459	19,691	36,404	45,224	—	632,718	1,846,498	△1,846,498	—
計	10,752,107	7,136,607	1,360,299	1,512,853	788,717	632,718	22,183,304	△1,846,498	20,336,805
セグメント利益又は 損失(△)	491,167	246,350	△92,204	185,317	27,255	18,913	876,799	2,737	879,537

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額2,737千円には、セグメント間取引消去709千円、棚卸資産の調整額2,028千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アセアン	欧州	台湾	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	9,513,190	7,056,023	1,059,095	1,587,699	751,231	—	19,967,239	—	19,967,239
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,067,040	699	45,925	48,931	—	481,430	1,644,027	△1,644,027	—
計	10,580,230	7,056,723	1,105,020	1,636,631	751,231	481,430	21,611,267	△1,644,027	19,967,239
セグメント利益又は 損失(△)	349,213	453,354	△42,959	221,196	97,089	10,093	1,087,987	34,093	1,122,080

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額34,093千円には、セグメント間取引消去1,144千円、棚卸資産の調整額32,949千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(自己株式の消却)

当社は、2025年11月11日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議しました。

(1) 自己株式の消却を行う理由

株主還元の充実及び資本効率の向上を図るためであります。

(2) 自己株式の消却に係る事項の内容

- | | |
|---------------|---|
| ① 消却する株式の種類 | 当社普通株式 |
| ② 消却する株式の総数 | 300,000株
(消却前の発行済株式総数〔自己株式を含む〕に対する割合2.27%) |
| ③ 消却後の発行済株式総数 | 12,890,960株 |
| ④ 消却予定日 | 2025年11月28日 |

(株式分割)

当社は、2025年11月11日開催の取締役会において、以下の通り、株式分割について決議しました。

(1) 株式分割の目的

投資単価当たりの金額を引き下げることにより、当社株式の流動性の向上と投資家層のさらなる拡大を図ることを目的とするものです。

(2) 株式分割の概要

① 分割の方法

2025年12月31日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式数を、1株につき2株の割合をもって分割します。

② 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	12,890,960株
株式分割により増加する株式数	12,890,960株
株式分割後の発行済株式総数	25,781,920株
株式分割後の発行可能株式総数	64,000,000株

③ 分割の日程

基準日公告日	2025年12月8日(予定)
基準日	2025年12月31日
効力発生日	2026年1月1日

※基準日当日は、株主名簿管理人の休業日にあたり、実質的な基準日は2025年12月30日となります。

④ 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が当連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下の通りです。

1株当たり純資産額	1,495円22銭
1株当たり中間純利益	59円31銭